

令和元年度のプロジェクトがスタートしました

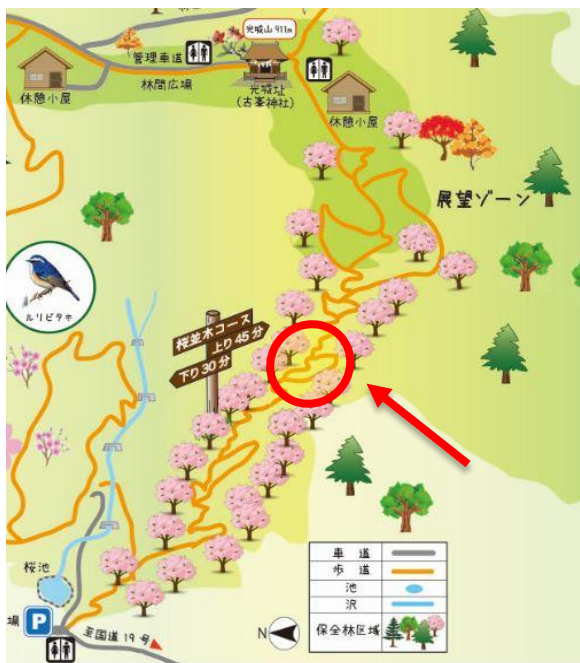
4月18日(木)に、令和元年度のプロジェクト総会が開催され、本年度の事業計画等が承認されました。本年度は、引き続き60本の桜(神代曙)の苗木を植栽するほか、自然観察会、歴史講座等を開催する予定です。

今年度は役員の変更もあり、プロジェクトの会長には新たに宮澤英雄さん(上川手山林財産区管理会長)が選出され、ごあいさつでプロジェクトの事業推進の思いを語られました。

市民と行政の協働により、「昇り竜」を後世に引き継ぐとともに、周辺地域一帯の自然や歴史を守り育てる取り組みに、本年度もご理解とご協力をお願いします。



本年度の植栽エリアの選定を行いました



4月25日(木)に、本年度の桜植栽エリアの選定のため、第1回目の現地踏査が行われました。これまでに植えた桜の育成状況を確認しながら、桜分科会の委員など11人が植栽エリアの選定を行いました。

本年度は、登山道のほぼ中腹、第2ベンチから上の範囲への植栽を予定します。

また、植栽日も11月30日(土曜日)に実施する予定となりました。

登山者の皆さんには、植栽に向けた準備等でご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。



平成30年度の植栽の様子

桜マルシェin光城山の開催 ~平成30年度の活動経過~

平成30年度はプロジェクトの新たな試みとして、8月・9月に登山口駐車場で「桜マルシェin光城山」を開催しました。

この取り組みは、将来にわたり多くの皆さんの光城山に対する関心を高め、プロジェクトの事業に協力していただける方(サポーター)を募るきっかけとして、地元の農家さんが新鮮な夏野菜等を軽トラで販売しました。

マルシェに訪れた人たちからは好評で、好意的な意見が多く寄せられました。その一方で、開催時間や開催場所の再検討や、光城山に対する関心を高めるため取り組みの充実などの課題も挙げられました。

この事業は本年度も引き続き実施して、より多くの人にマルシェにお越しいただき、光城山への関心を高めてもらえるよう、プロジェクトの活動の広報や、サポーターの募集を効果的に行うため、事業の充実を図っていきます。

